

配 布 資 料

平成 21 年 3 月 26 日
東日本高速道路株式会社

新たな料金割引の導入に伴う主な対策

新たな料金割引の導入にあたり、料金割引開始日からゴールデンウィーク前までの間に取り組む主な対策は、次のとおりです。

項目	対策内容等
渋滞対策	<ul style="list-style-type: none">上り坂などでの速度低下による渋滞を緩和するため、標示板等による速度回復の呼びかけの実施 (関越道 9 箇所、東北道 8 箇所等 合計 23 箇所)渋滞後尾での標識車等により、「この先渋滞中」などの注意喚起
情報提供 広報関連	<ul style="list-style-type: none">道路情報板、ハイウェイラジオ、サービスエリアのハイウェイ情報ターミナル等により、リアルタイムに渋滞情報を提供E T C レーンの安全通過等の交通安全運転の広報(ラジオ、ポスター、横断幕等)新たな料金割引の実施についての広報(ポスター・チラシ・ホームページ・ラジオ・新聞広告)「ドラぷら」において新たな料金割引に対応した料金検索システムを提供
お客さま対応の強化	<ul style="list-style-type: none">サービスエリア等において駐車場整理員を配置 (東北道 8 箇所、関越道 5 箇所等 合計 16 箇所、延べ約 300 人)仮設トイレを設置 (東北道 5 箇所、京葉道路 1 箇所等の合計 9 箇所 <サービスエリア等 5 箇所、料金所 4 箇所>)サービスエリアの店員の増員、営業時間を延長料金所においてレーンの適正な開放を実施料金所係員の増員等による体制の強化お客さまセンターのオペレーターを増員 (20名 25名程度)